

# 第2期 神奈川県スポーツ推進計画

## 「エンジョイ・スポーツ！ かながわプラン」

### (概要版)

# 1 計画の目標年度

- 計画全体の目標年度は、県の総合計画である「新かながわグランドデザイン」の基本構想に合わせ、2040（令和22）年度までの15年間とします。
- 当面取り組む施策の目標年度は、社会状況などスポーツを取り巻く環境の変化に対応した計画としていくため、2030（令和12）年度までの5年間とします。

## 【第1期計画】

計画全体	2017（平成29）年度～2025（令和7）年度（9年間）
当面取り組む施策	2017（平成29）年度～2022（令和4）年度（6年間） <small>（策定当初は2020（令和2）年度に見直し予定だったが、新型コロナウイルスの影響等により、2年延長）</small>
当面取り組む施策	2023（令和5）年度～2025（令和7）年度（3年間）

## 【第2期計画】

計画全体	2026（令和8）年度～2040（令和22）年度（15年間）
当面取り組む施策	2026（令和8）年度～2030（令和12）年度（5年間）

## 2 基本目標（目標年度：2040（令和22）年度）

（基本的な考え方）

- 令和5年3月に見直した第1期計画で定めた基本目標について、令和6年3月に策定した「新かながわグランドデザイン」でも考え方を踏襲しており、第2期計画でも基本目標の骨格は継続・維持する。
- ただし、「共生社会の実現」については、第1期計画策定以降に神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例が施行されるなど、政策の立案・企画・実施に当たって特に重要な視点であることから、共生社会の実現を基本目標として明確に設定する。

### 【第1期計画】

- ① 誰もが、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現
- ② スポーツの持つ力による、前向きで活力ある社会と、共生社会の実現

### 【第2期計画】

- ① 誰もが、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現
- ② スポーツの持つ力による、前向きで活力ある社会の実現
- ③ **スポーツを通じて、誰もが生き生きと喜びを実感できる共生社会の実現**

### 3-1 『する』に関する数値目標（目標年度:2030（令和12）年度）

- 数値目標の設定は、第1期計画の実績を考慮し、国の計画も踏まえ、原則として数値目標を据え置くこととします。
- ただし、成人の週3回以上のスポーツ実施率は、「新かながわグランドデザイン」において、令和9年度の数値目標を37%（令和7年度の35%から毎年1%ずつ上昇を見込んでいる。）としているため、第2期計画では、当面取り組む施策期間（令和12年度）に合わせて、令和10年度以降も毎年度1%ずつの上昇を見込み、40%とします。

#### ① 成人のスポーツ実施率

成人の週1回以上のスポーツ実施率を	<b>70</b> %以上	(第1期 70%以上)
週3回以上のスポーツ実施率を	<b>40</b> %以上	(第1期 35%以上)
スポーツ非実施率を	<b>0</b> %	(第1期 0%)

#### ② 子どものスポーツ実施率

子どもの週3回以上のスポーツ実施率を	<b>55</b> %以上	(第1期 55%以上)
スポーツ非実施率を	<b>7</b> %	(第1期 7%以上)

#### ③ 障がい者のスポーツ実施率

障がい者の週1回以上のスポーツ実施率を	<b>40</b> %以上	(第1期 40%以上)
---------------------	---------------	-------------

### 3-2 『みる』『ささえる』に関する数値目標（目標年度:2030（令和12）年度）

- スポーツの多面にわたる価値を反映させるため、『みる』『ささえる』に関する数値目標を追加する。

#### 新④ 観覧※した県民の割合【みる】

1年間にスポーツを観覧した県民の割合を**70%**以上にします。

※観覧とは、スポーツの試合観戦だけでなく、地域のスポーツ大会・運動会、スポーツ体験イベント、発表会等のほか、テレビやインターネット等でのスポーツ観戦を含みます。

	平成22年度	平成27年度	令和4年度	令和6年度	令和12年度 (目標)
観覧※した県民 の割合	未調査	未調査	66.5%	65.6%	<b>70%</b>

(参考値) 会場での直接観戦率の実績

平成22年度(30.6%)、平成27年度(27.0%)、令和4年度(27.3%)、令和6年度(38.1%)

#### 新⑤ ささえる活動※を行った県民の割合【ささえる】

1年間にスポーツをささえる活動を行った県民の割合を**10%**以上にします。

※ささえる活動とは、スポーツ大会やスポーツイベント等でのボランティア活動だけでなく、スポーツ指導やスポーツ団体、自治会、地域クラブでのスポーツ活動の役割・運営、子どものスポーツ活動の送迎等を含みます。

	平成22年度	平成27年度	令和4年度	令和6年度	令和12年度 (目標)
ささえる活動※ を行った 県民の割合	6.9%	4.4%	2.8%	2.9%	<b>10%</b>

## 4 スポーツ推進の施策展開

- 基本目標を踏まえて、視点3を分割し、「スポーツを通じた共生社会の実現」を追加する。
- スポーツ基本法の改正内容等を踏まえ、デジタル技術の活用など必要な事項を盛り込む。

### 第2期計画（案）【令和8年3月】

#### 視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進

- 1 スポーツに親しむきっかけづくり
- 2 スポーツに親しむ意欲や態度の育成、機会の確保
- 3 スポーツに親しむ習慣の確立、楽しみ・ささえる機会の提供
- 4 スポーツを通じた健康・生きがいづくり
- 新** 5 デジタル技術の活用

#### 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進

- 6 スポーツ活動の環境整備
- 7 アスリートの育成

#### 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化

- 8 スポーツの持つ力による地域活性化

#### 視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

- 9 スポーツを通じた共生社会の実現

### 第1期計画【令和5年3月見直し】

#### 視点1 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進

- 1 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくり
- 2 スポーツに親しむ意欲や態度の育成
- 3 スポーツを行う習慣の確立
- 4 スポーツを通じた健康・生きがいづくり

#### 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進

- 5 スポーツ活動の環境整備
- 6 アスリートの育成

#### 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化、共生社会の実現

- 7 スポーツの持つ力による地域活性化
- 8 スポーツを通じた共生社会の実現

分割

# 5 各施策の概要（視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進）

## 施策1 スポーツに親しむきっかけづくり | 主に乳幼児期 0～6歳

### （1）施策の方向

- 遊びや運動の体験により、心身の健全な発達を促し、生涯を通じて豊かなスポーツライフを築くための基盤をつくる。
- 基本的な動作の習得等により、自ら進んで体を動かすことができるようになることを目指す。

### （2）主な取組

取組名	概要
ア 家庭での遊び・運動の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 乳幼児期に体を動かす習慣を身に付けるための大人と子どもでふれあいながら行う運動の紹介</li></ul>  <p>親子ふれあい体操 リーフレット</p>
イ 地域での遊び・運動の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子どもの外遊びの奨励に関する保護者に対する情報提供</li><li>・ 総合型地域スポーツクラブ等でのスポーツ活動の機会提供</li></ul>
ウ 関連する取組	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指導者の知識、技能など質の向上を図るための研修</li><li>・ 県内各地の団体や教室等へのレクリエーション指導者派遣</li></ul>

# 5 各施策の概要（視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進）

## 施策2 スポーツに親しむ意欲や態度の育成、機会の確保 | 主に児童・青年期 7～18歳

### （1）施策の方向

- 学校での体育・健康に関する活動などにより、スポーツに親しむ意欲や態度を育成し、生涯にわたってスポーツに親しむ基礎づくりを目指す。
- 児童、生徒等のスポーツを取り巻く環境を踏まえ、学校での活動以外でも継続的に多様なスポーツに親しむ機会の確保に取り組む。

### （2）主な取組

取組名	概要
ア 学校における体育・スポーツ活動の推進	・ 小学校・中学校・高等学校等の児童・生徒それぞれの興味や目標に応じてスポーツに親しめる環境の整備
イ 中学校の生徒が継続的にスポーツに親しむ機会の確保	<b>拡</b> 地域の実情に応じた部活動の地域展開
ウ 地域における多様なスポーツ活動の推進	<b>新</b> アーバンスポーツの普及促進 ・ 総合型地域スポーツクラブの量的・質的な充実 <b>新</b> 多種多様なスポーツの普及（マルチスポーツ）
エ 関連する取組	・ 本県と友好提携を結んでいる地域と連携した青少年のスポーツを通じた国際交流の機会提供



県主催のアーバンスポーツイベントを観覧する様子

## 5 各施策の概要（視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進）

### 施策3 スポーツに親しむ習慣の確立、楽しみ・ささえる機会の提供 | 主に成人期 18～64歳

#### （1）施策の方向

- スポーツをなかなか行えない成人期においても、それぞれの興味・目的や体力等に応じて、くらしの中にスポーツを習慣化することを目指す。
- 生涯にわたり元気に過ごせるよう、気軽にできる運動や、「みる」「ささえる」活動の機会を提供する。

#### （2）主な取組

取組名	概要
ア スポーツに親しむ機会の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日常で簡単にできる体操やランニングの紹介や多種多様なスポーツの周知啓発</li><li>・ 「県民スポーツ月間」におけるスポーツイベントの支援やスポーツ教室、体験会の開催</li></ul>
イ 各々の状況に応じてスポーツを楽しみ、ささえる機会の提供	<b>新</b> <b>スポーツ観戦やスポーツイベントへの参加促進</b> (スポーツを「みる」「ささえる」機会の提供)
ウ 関連する取組	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 未病改善に向けてスポーツイベントにおける体力測定やスポーツ活動へのアドバイスの実施</li><li>・ 県民が気軽に運動やスポーツに参加できる取組</li></ul>



大規模大会での試合観戦の様子

# 5 各施策の概要（視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進）

## 施策4 スポーツを通じた健康・生きがいづくり | 主に円熟期 65歳～

### （1）施策の方向

- 円熟期における幸福で豊かな生活を実現するため、スポーツを通じて、未病の改善や健康寿命の延伸、生きがい・仲間づくりを目指す。
- 運動機能や障がいの程度に配慮しつつ、健康の保持増進につながるよう、誰もが健康状態に応じた気軽なスポーツを普及する。

### （2）主な取組

取組名	概要
ア レクリエーションスポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・レクリエーションスポーツイベントの開催や世代間交流教室等への支援</li><li>・全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣</li></ul>
イ 体の状態や体力に応じた運動の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康づくりの普及促進</li><li><b>拡</b> 健康関係部局と連携し、認知症未病改善にもつなげる運動等を推進</li></ul>



認知症未病改善キャラバン

# 5 各施策の概要（視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進）

## 施策5 デジタル技術の活用 | 全世代

### （1）施策の方向

- 多くの県民が身近にデジタル技術を利用する環境を活かして、インターネットを活用した効果的な情報発信を展開する。
- eスポーツの活用など、デジタル技術を活かして、スポーツの価値を高める施策を展開する。

### （2）主な取組

取組名	概要
ア デジタル技術を活用した情報発信	<p><b>新</b> スポーツに関わる情報をわかりやすく、ホームページやSNS等で発信</p> <p>DXを活用して 若い世代にも 届く広報を展開!!</p> <p>  神奈川県スポーツ情報 【スポーツ課公式Xアカウント】</p> <p>  県立スポーツセンター 【公式Instagramアカウント】</p> <p>  県立スポーツセンター 【公式Facebookアカウント】</p>
イ デジタル技術を活用したスポーツ施策の展開	<p><b>新</b> eスポーツなどデジタル技術を活用したスポーツ体験</p> <p><b>新</b> 施設利用、アスリート育成など、多様な場面でデジタル技術を活用したスポーツ施策の展開</p> <p></p> <p>10 県主催イベントでのeスポーツ体験の様子</p>

## 5 各施策の概要（視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進）

### 施策6 スポーツ活動の環境整備

#### （1）施策の方向

- 県民の誰もが身近な場所でスポーツや運動に親しみ、遊ぶことができるよう、スポーツ環境の基盤となる「人材」の育成と「場」の充実を図る。
- スポーツの多様な価値を継続的に具現化していくために、スポーツ・インテグリティを高め、クリーンでフェアなスポーツの推進に取り組む。

#### （2）主な取組

取組名	概要
ア スポーツ環境の基盤となる「人材」の育成	・ 指導者、専門スタッフ、スポーツボランティア、サポーター、経営人材など、スポーツを「ささえる」多様な人材の育成
イ スポーツ環境の基盤となる「場」の充実	・ 県立スポーツ施設の管理・運営、県立学校の施設開放、県管理の自然公園の登山道や、歩道等の整備 ・ 総合型地域スポーツクラブへの定期的な巡回相談や講習会での人材育成等
ウ スポーツ事故等の防止	<b>拡</b> スポーツ事故等の防止に向けた研修会や暑熱対策
エ 暴力やハラスメントのないスポーツ環境の推進	<b>拡</b> 身体的・精神的暴力行為の根絶や、ハラスメント、盗撮被害、インターネット上での誹謗中傷等の防止 ・ 指導者に対する研修や相談窓口の設置や注意喚起、意識啓発
オ 関連する取組	・ 健康増進の取組や地域におけるスポーツ活動等の推進



出典：JSP0「スポーツ現場におけるハラスメント防止動画」

## 5 各施策の概要（視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進）

### 施策7 アスリートの育成

#### （1）施策の方向

- 神奈川育ちのアスリートの活躍は、県民に誇りと喜び、夢と希望を与え県民のスポーツへの関心を高めるものであり、本県のアスリートの競技力の向上に取り組む。
- 新たなアスリートが生まれるような人材の好循環を作る環境づくりや、競技水準の向上などに取り組む。

#### （2）主な取組

取組名	概要
ア 競技力の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国民スポーツ大会や全国パラスポーツ大会等へ選手、コーチ等を派遣するなど、本県のアスリートの活躍を支援</li><li>・ 優秀な選手や指導者が能力を生かし、将来地域で活躍できる人材の好循環（かながわアスリートネットワークの活用）</li></ul>
イ トップアスリートの育成	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 運動能力の優れた児童・生徒の発掘及びジュニア世代（小、中、高校生）からの一貫した指導体制の実施</li><li>・ 神奈川育ちの有望な障がい者アスリートの育成・強化と指導者の支援</li></ul>  <p>かながわジュニアチャレンジプロジェクト （タレント育成能力開発プログラム）</p>
ウ スポーツ医・科学の活用促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アスリートや指導者に対するスポーツ医・科学の活用促進</li></ul>

## 5 各施策の概要（視点3 スポーツの持つ力による地域活性化）

### 施策8 スポーツの持つ力による地域活性化

#### （1）施策の方向

- スポーツの持つ多様な力を市町村、企業、スポーツ団体など様々な主体との連携により大きな力とし、県政課題である地域活性化につなげる。
- 県立スポーツ施設等のスポーツ資源を活用し、広域的なスポーツツーリズムの推進や合宿の受入れ等により、地域を盛り上げる。

#### （2）主な取組

取組名	概要
ア 多様な主体との連携による地域活性化	<ul style="list-style-type: none"><li>・市町村、スポーツ団体、企業等が情報共有や意見交換等を通じて連携するための場の設置</li></ul> <b>拡</b> 企業やスポーツ団体と連携した「あつまる」「つながる」機会の創出（かながわスポーツ・プラットフォームの活用）
イ スポーツ資源を活用して地域を盛り上げる取組	<b>拡</b> 海や山など本県の魅力あるスポーツ資源を活用し、地域性を意識した広域的なスポーツツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"><li>・登山やカヌー等の神奈川の豊かな自然環境を活かしたスポーツ体験の機会提供や合宿の受入れ</li></ul>  <p>スポーツツーリズムPR素材（サイクリング） &lt;太平洋岸自転車道神奈川セクション&gt;</p>
ウ 関連する取組	<b>新</b> スポーツと文化芸術など他分野との連携

## 5 各施策の概要（視点4 スポーツを通じた共生社会の実現）

### 施策9 スポーツを通じた共生社会の実現

#### （1）施策の方向

- 「かながわパラスポーツ」の普及やいつでも気軽にスポーツや運動に親しみ、遊ぶことができる環境づくりを通じた、誰もが生き生きと喜びを実感できる共生社会の実現。
- 障がい者が自らの興味、関心等に応じて、日常的にスポーツに親しみ、楽しめる機会の提供と障がい者スポーツをささえる人材の育成・活用。

#### （2）主な取組

取組名	概要
ア 「かながわパラスポーツ」の普及	<b>拡</b> 様々な地域の間を活用したイベントの開催等によるかながわパラスポーツの普及
イ 障がい者スポーツの推進	<b>拡</b> 障がい者スポーツ教室の開催や講師派遣、パラ用具の貸出し等 ・ 県障害者スポーツ大会や障がい者スポーツ指導者研修等の実施
ウ 関連する取組	<b>新</b> バリアフリー対応や、身体的・精神的暴力行為の根絶、ハラスメント等の防止に向けた意識啓発（一部再掲）



かながわパラスポーツ関係用具貸出し